

-----2月8日-----

## 今週のアウトルック (2/8~2/13)

先週は前半円安方向へ振れたものの、後半は再び円高の流れでした。NYダウや日経平均の下落に歩調を合わせた形です。

米国雇用統計の結果をどう受け止めるか、というところに意見は分かれるところですが、市場はネガティブにとらえた部分が大きかったようです。

今週はギリシャ問題などに対するG7の方針を、市場がどう受け止めるかに左右されそうです。一時的に好感される場面もあるかもしれませんが、全体的な流れを変えるほどのインパクトがあるかどうかは疑問です。

ドル円は先週の前半、91円超えまで円安が進んだものの、再び89円台まで戻されています。逆に89円付近のサポートラインは堅いようにも思います。今週もNYダウが大きく売られる、または買われるような状況がなければ、動きづらい状況が続くように思います。

ドル円の予想レンジは89円から91円です。

ユーロ円はギリシャ問題の対応に左右されそうです。

G7では方針発言に留まり、具体的な対応策に踏み込んだ部分はあまりなかったように思います。このあたりを市場がどう受け止めるかで、大きく動きが変わりそうです。すでにユーロドルは1.35をターゲットに入れているようにも思います。ここを抜けると1.3あたりがターゲットに入り、加速度を増すかもしれません。スペイン、ポルトガルなどの状況にも注意が必要のように思います。

ユーロ円の予想レンジは120円から124円です。

ポンド円は140円を月曜日あたりに回復できないと、130円あたりを狙う急落が起こってしまう可能性もあるかもしれません。または140円台を回復できれば大きく一度上昇という展開もあるかもしれません。どちらにしてもボラティリティがかなり大きくなっているので注意が必要です。

予想レンジは130円から145円です。

クロス円のボラティリティが、全般的に大きくなってきています。今まで通りのストップ値だと、意図する方向に動いてもストップ決済された後、という状況が増えるかもしれません。

かと言ってストップ幅を広げてしまうことは危険です。

ポジション枚数を少なくすることで対応した方が良いように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。